

この度、慶應義塾大学名誉教授を務められていました白石 孝先生が25年10月17日お亡くなりになりました。享年91歳でした。

昭和31年から39年までの9年間、我が慶應義塾大学バドミントン部部长としてご指導をいただきました。

私達の頃は、若くバリバリの商学部部长として活躍されていました。最後4年の時、インカレで団体優勝をすることが出来、当時鎌倉にお住まいだった先生宅に報告に伺いました時には本当に喜んでいただいた姿を今でも嬉しく思い浮かべる事が出来ます。

金融関係で権威がありましたから、就職活動の相談にも乗っていただきましたことはまだ記憶に新しい事です。

五月女前監督が、光井時代の早慶戦に先生を招待しましたところ、当時86歳位かと思いますが、元気な姿で日吉記念館にお越しいただきました。卒業して50年近く経っていましたが、名前も覚えていただいて感激しました。

その折に撮りました写真はたった5枚でしたが、お礼文を添えて送りましたところ、すぐに素晴らしい毛筆で心のこもったお手紙を頂戴しました。今の世の中、何をしてもウンでもスンでもない時代に、このような気遣いをしてくださる先生に改めて尊敬の念を禁じ得ませんでした。

その時の写真とお手紙を添えて、先生へのお別れの言葉とさせていただきます。

合掌

慶應義塾大学バドミントン部

36年卒 高井 貞夫





今日婦へ傳へて守真
いかに有難き事かと
久し振りにOBの方へお会い
のぶ樽へお会いしたとき
こい 教へた玉皇様へ
お礼が思ふ程に
バツマンと眼なし 若き日
の吹よと眼に涙を流し
今改めてお礼の書真
あらんことを

孝行の五十年ぶりの
こと、お礼のよつ年におさ
苦しみ 初めは八十路
お礼のよつ年におさ
りし一紙
教へた玉皇様へ
意を張る
と張るよつ年 清濁々
お礼のよつ年
有難き事かと
初めは八十路
有難き事かと
初めは八十路
高井貞次様
自筆書